

京都府の地震活動

令和5年（2023年）5月

第36巻第5号

京都地方気象台

目次

震央分布図、概況	・・・1
震央分布図、断面図	・・・2
京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度一覧表	・・・3
京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図	・・・4
【地震一口メモ】地震情報について	・・・6

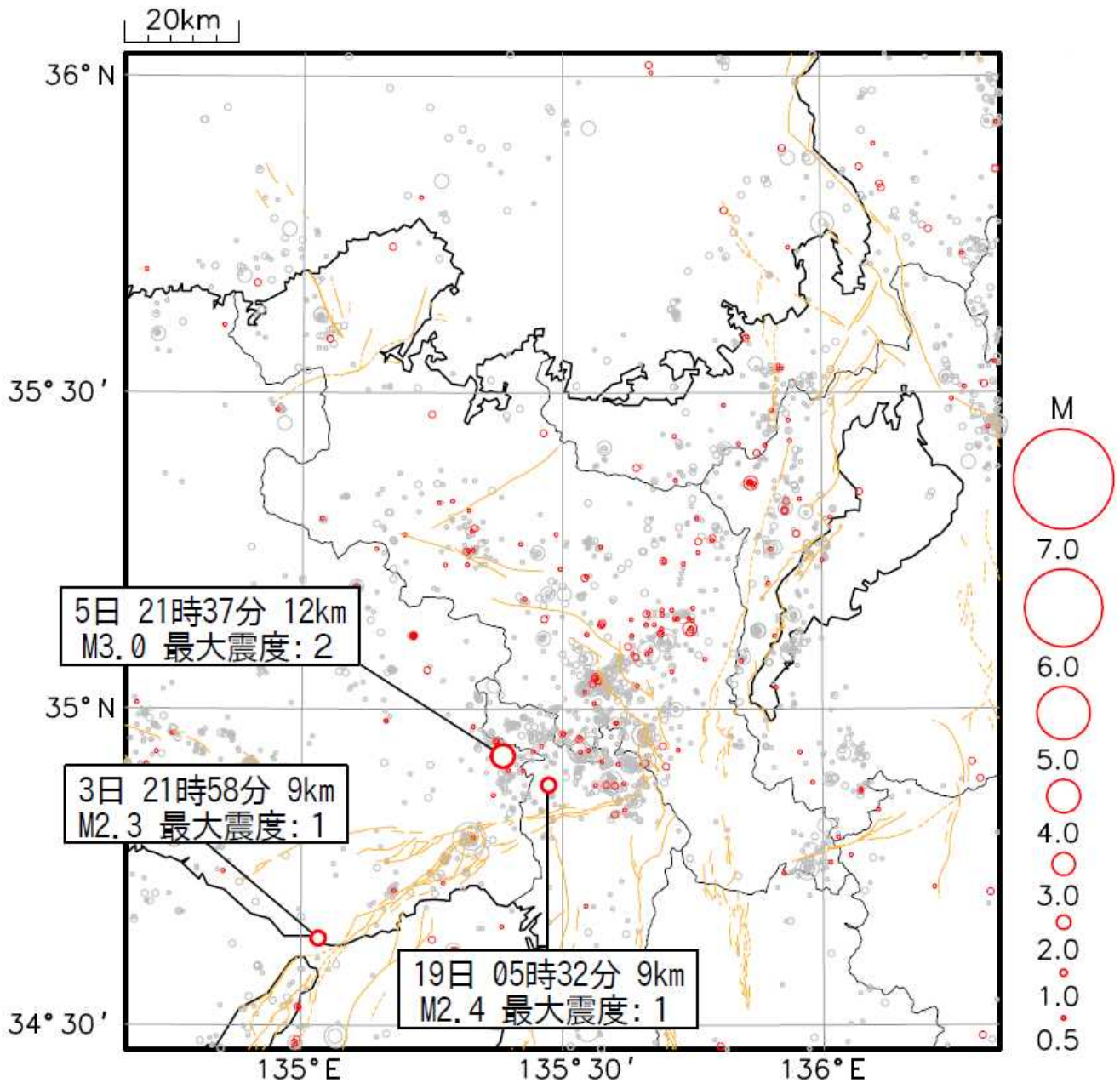
『京都府の地震活動』は、京都府及びその周辺の地震活動状況を解説するとともに、地震防災知識の普及に資するため、毎月刊行しています。

本誌に掲載した震源要素、震度データは、再調査された後、修正されることがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

震央分布図（マグニチュード0.5以上、深さ0～80km）



- ・ (2022年6月1日～2023年5月31日、深さ0～80km、 $M \geq 0.5$)
- ・ 2023年5月の地震を赤く表示（総数277）
- ・ 震源を表す「○」の記号は、マグニチュード (M) の大きさに対応したサイズで表記。
- ・ 震度1以上を観測した地震には、日時、深さ、マグニチュード (M)、最大震度及び京都府内で震度を観測した地震については京都府内最大震度を付記。
- ・ 橙色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

概況

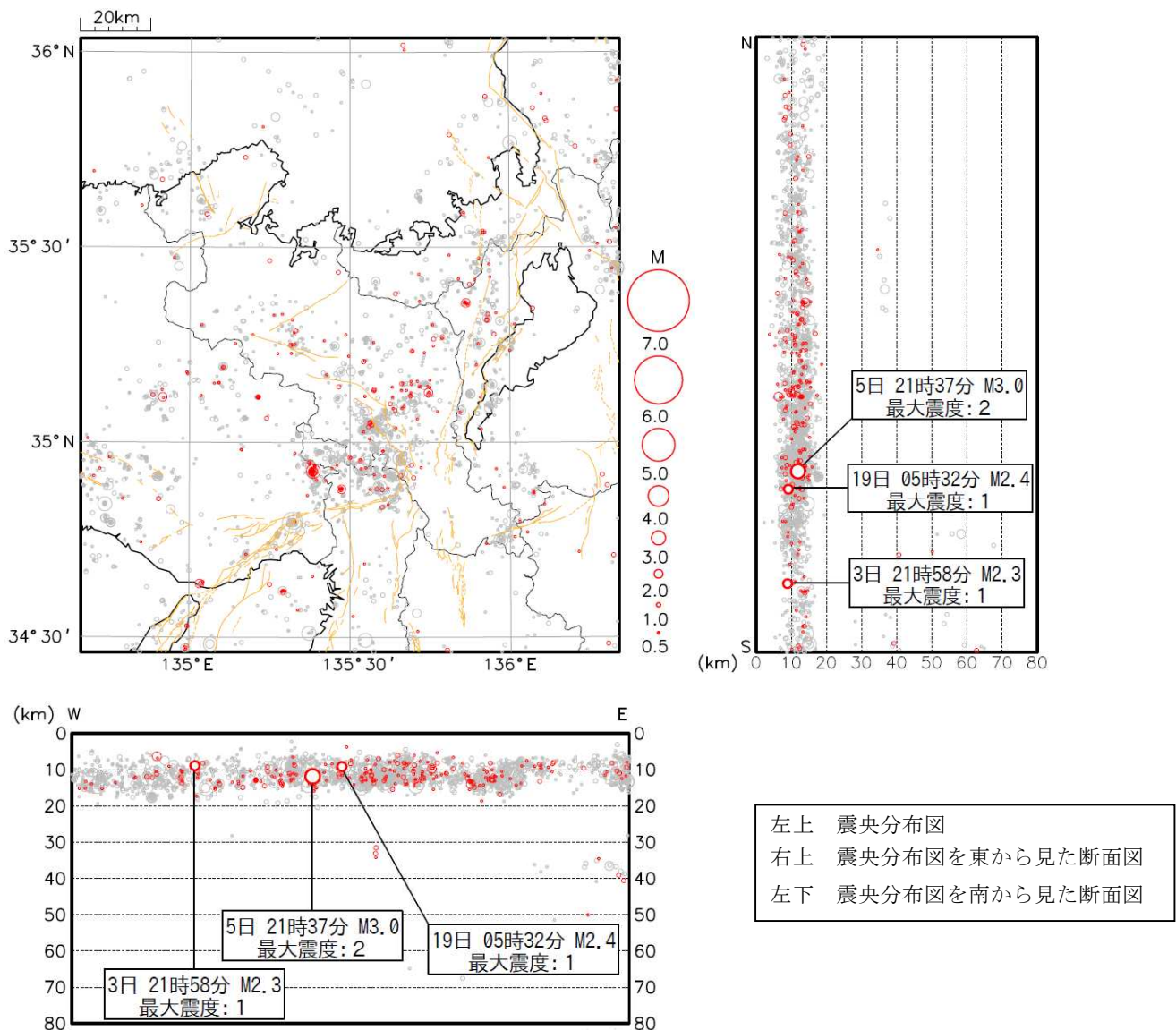
5月中、震央分布図内で観測したマグニチュード2.0以上の地震は8回、震度1以上の揺れを観測した地震は3回でした（4月はそれぞれ7回、2回）。

京都府内で震度1以上を観測した地震は2回ありました（4月は0回）。

5日14時42分 能登半島沖の地震（図の領域外：深さ12km、 $M6.5$ ）により、京都府京都市下京区・南区・右京区・伏見区・西京区、向日市、長岡京市、八幡市、与謝野町、久御山町で震度2を観測したほか、東北・関東・東海・甲信越・北陸・近畿・中国・四国地方にかけて震度6強～1を観測しました。

5日21時58分 能登半島沖の地震（図の領域外：深さ14km、M5.9）により、京都府京都市南区・右京区・伏見区・西京区、舞鶴市、宮津市、京丹後市、亀岡市、城陽市、向日市、八幡市、京田辺市、与謝野町、久御山町、宇治田原町で震度1を観測したほか、東北・関東・東海・甲信越・北陸・近畿・四国地方にかけて震度5強～1を観測しました。

震央分布図、断面図（マグニチュード0.5以上、深さ0～80km）



左上 震央分布図
 右上 震央分布図を東から見た断面図
 左下 震央分布図を南から見た断面図

- ・（2022年6月1日～2023年5月31日、深さ0～80km、M \geq 0.5）
- ・2023年5月の地震を赤く表示（総数277）
- ・震源を表す「○」の記号は、マグニチュード（M）の大きさに対応したサイズで表記。
- ・震度1以上を観測した地震には、日時、マグニチュード（M）、最大震度を付記。
- ・橙色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

深さ数km～約20kmに分布している地震は陸側のプレート内で発生した地震（地殻内地震）、深さ約30km～約60kmに分布している地震は、沈み込むフィリピン海プレート内の地震です。

京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度一覧表（2023年5月）

番号	観測日時		震央地名	北緯	東経	深さ	規模
	月日	時分		(度分)	(度分)	(km)	(M)
①	5月5日	14:42	能登半島沖	37° 32.3'	137° 18.2'	12	6.5
②	5月5日	21:58	能登半島沖	37° 31.5'	137° 14.1'	14	5.9

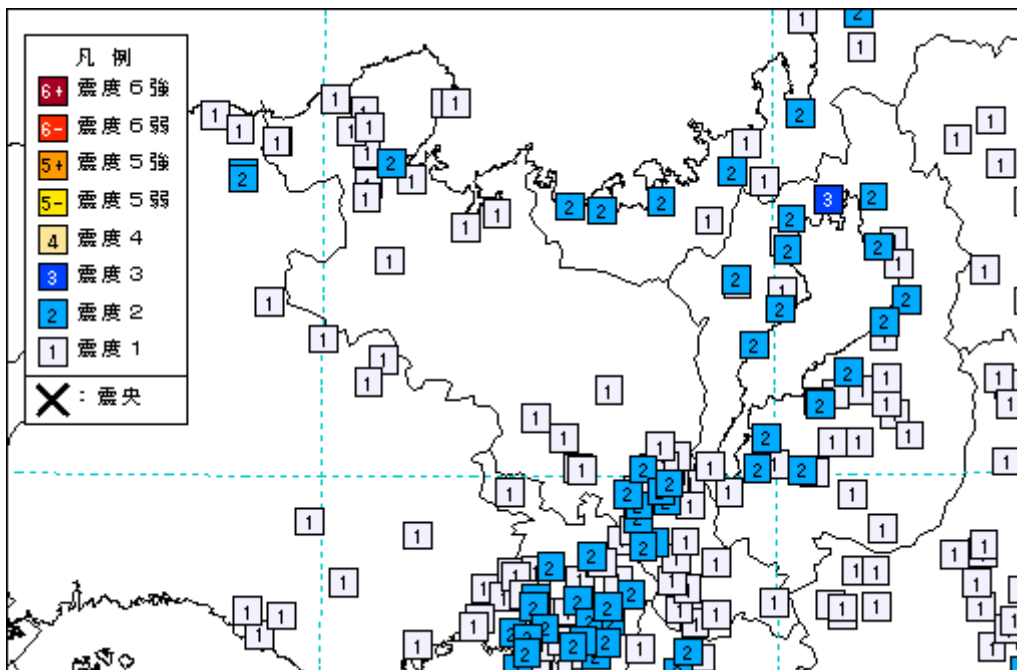
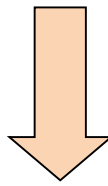
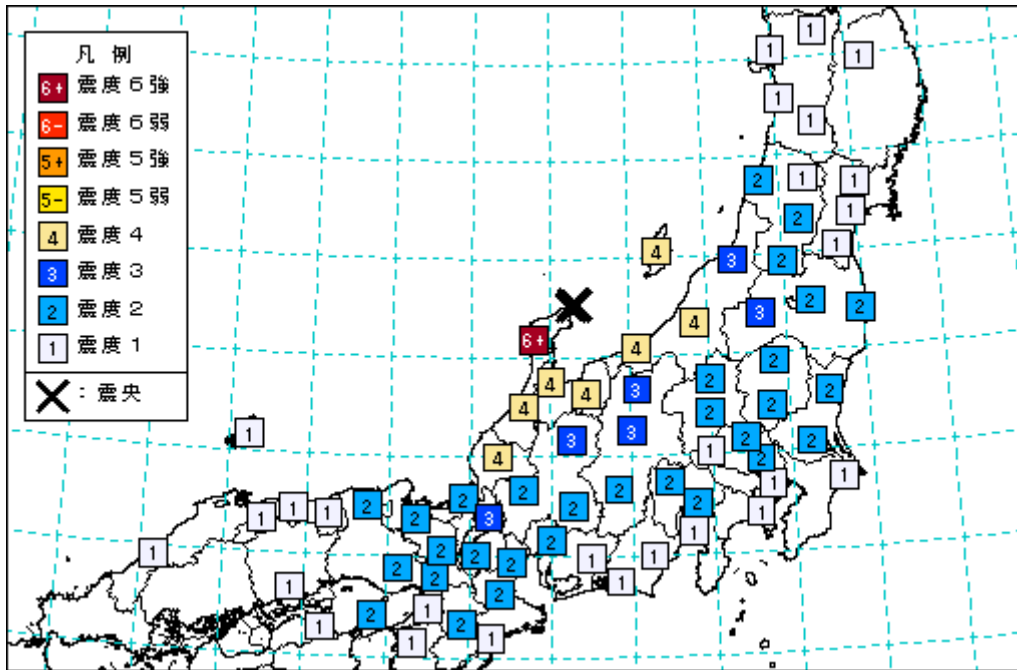
※①と②の能登半島沖の地震について、地震発生後、発生場所付近で数分間に地震が連続して発生したため、切り分けが出来ず地震情報では震源をまとめて発表しました。そのため、震源が複数にわたっていますが、ここでは、マグニチュードが一番大きかった最初の震源を表示しています。

地域	震度観測点	所属	各地の震度		地域	震度観測点	所属	各地の震度	
			①	②				①	②
北 部	福知山市内記	気	-	-	南 部	京都伏見区竹田	自	2	1
	福知山市長田野町	防	-	-		京都伏見区醍醐	自	1	1
	福知山市三和町千束	自	-	-		京都山科区安朱川向町	防	-	-
	福知山市夜久野町額田	自	-	-		京都山科区西野	自	1	-
	福知山市大江町河守	自	1	-		京都西京区檜原	自	1	1
	舞鶴市下福井	気	1	1		京都西京区大枝	自	2	1
	舞鶴市浜	防	-	-		宇治市宇治琵琶	気	1	-
	舞鶴市北吸	自	1	-		宇治市折居台	防	-	-
	綾部市若竹町	自	-	-		亀岡市安町	気	1	1
	宮津市柳縄手	自	1	1		亀岡市余部町	防	1	-
	伊根町亀島	防	1	-		城陽市寺田	自	1	1
	伊根町日出	自	1	-		向日市寺戸町	自	2	1
	京丹後市弥栄町吉沢	気	1	-		長岡京市開田	自	2	-
	京丹後市久美浜町広瀬	防	1	1		八幡市八幡	自	2	1
	京丹後市峰山町	自	1	1		大山崎町円明寺	自	1	-
	京丹後市大宮町	自	1	1		久御山町田井	自	2	1
	京丹後市丹後町	自	-	-		京田辺市田辺	自	1	1
	京丹後市久美浜市民局	自	1	-		井手町井手	自	1	-
	京丹後市網野町	自	1	1		宇治田原町立川	自	1	1
	京丹後市弥栄町溝谷	自	1	1		笠置町笠置	自	-	-
与謝野町加悦	自	1	1	和束町釜塚	自	-	-		
与謝野町岩滝	自	2	1	精華町南稻八妻	自	1	-		
与謝野町四辻	自	1	1	南山城村北大河原	自	1	-		
南 部	京都北区大宮西脇台町	自	1	-	京丹波町坂原	気	-	-	
	京都上京区藪ノ内町	自	1	-	京丹波町橋爪	自	-	-	
	京都左京区広河原能見町	防	-	-	京丹波町本庄	自	-	-	
	京都左京区田中	自	1	-	京丹波町蒲生	自	-	-	
	京都中京区西ノ京	気	1	-	南丹市美山町島	自	-	-	
	京都中京区河原町御池	自	1	-	南丹市日吉町保野田	自	-	-	
	京都東山区清水	自	1	-	南丹市八木町八木	自	1	-	
	京都下京区河原町塩小路	自	2	-	南丹市園部町小桜町	自	1	-	
	京都南区西九条	自	2	1	木津川市加茂町里	自	1	-	
	京都右京区京北周山町	自	1	-	木津川市木津	自	1	-	
京都右京区太秦	自	2	1	木津川市山城町上粕	自	1	-		

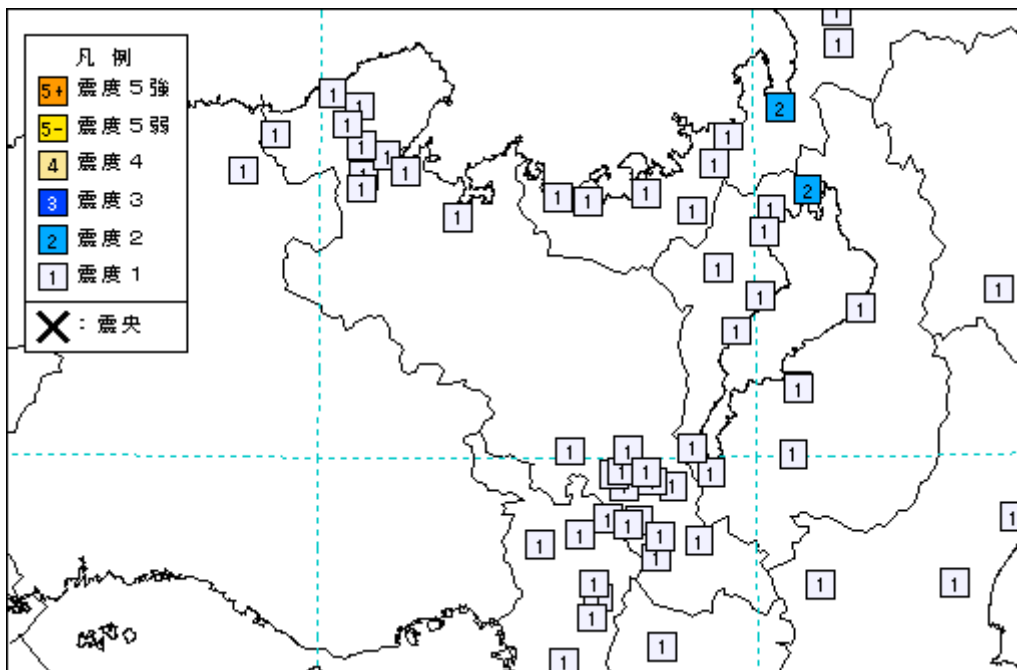
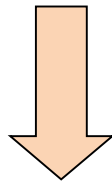
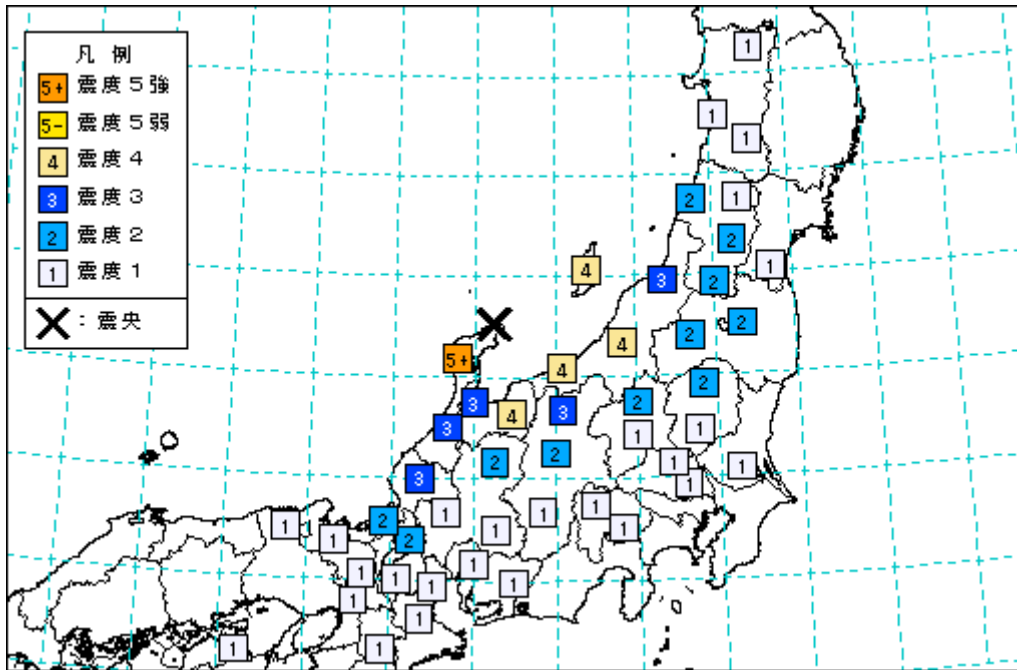
注1：所属のうち、「気」は「気象庁」、「防」は「防災科学技術研究所」、「自」は「自治体」を示しています。

注2：表○数字は、5月に京都府内で震度1以上の揺れを観測した地震番号を表しています。

① 5月5日 14時42分 能登半島沖の地震 (M6.5、深さ12km) の震度分布図 (上図：地域別、下図：観測点別)



② 5月5日 21時58分 能登半島沖の地震 (M5.9、深さ14km) の震度分布図 (上図：地域別、下図：観測点別)



【地震一口メモ】

地震情報について

地震が発生し計測震度計が揺れを観測した場合、震度データが気象庁に送信され、気象庁でとりまとめて地震情報を発表します。地震情報は震度の大きさや地震が発生した場所などに応じて表1の通りいくつかの情報を使い分けて発表します。地震情報を発表する優先順位は、国民の皆様へいち早くお伝えする必要がある重要なものからになります(次ページに掲載の図2の橙色箇所が地震情報の発表の流れ)。地震情報は、気象庁や地方公共団体が現地調査や救援・救助活動を行う上で目安とする重要な情報であるとともに、国民の皆様が地震の規模や被害状況を把握するための参考となる情報であり、正しく理解しておく必要があります。なお、これらは下記の気象庁ホームページ「地震情報について」に掲載していますが、地震情報の詳細や、情報に用いるマグニチュードについて等さらに詳しく知りたい場合は、ホームページ下部に関連リンクがありますのでご覧ください(図1)。

表1 地震情報(気象庁ホームページ)

情報の種類	発表基準	内 容
震度速報	<ul style="list-style-type: none"> 震度3以上 	地震発生約1分半後に、震度3以上を観測した地域名(全国を188地域に区分)と地震の揺れの検知時刻を速報。
震源に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> 震度3以上 (津波警報または注意報を発表した場合は発表しない) 	「津波の心配がない」または「若干の海面変動があるかもしれないが被害の心配はない」旨を付加して、地震の発生場所(震源)やその規模(マグニチュード)を発表。
震源・震度情報	<ul style="list-style-type: none"> 震度1以上 津波警報・注意報発表または若干の海面変動が予想された時 緊急地震速報(警報)発表時 	地震の発生場所(震源)やその規模(マグニチュード)、震度1以上を観測した地点と観測した震度を発表。それに加えて、震度3以上を観測した地域名と市町村毎の観測した震度を発表。震度5弱以上と考えられる地域で、震度を入手していない地点がある場合は、その市町村・地点名を発表。
長周期地震動に関する観測情報	<ul style="list-style-type: none"> 震度1以上を観測した地震のうち、長周期地震動階級1以上を観測した場合 	地域ごとの震度の最大値・長周期地震動階級の最大値のほか、個別の観測点毎に、長周期地震動階級や長周期地震動の周期別階級等を発表。(地震発生から10分後程度で1回発表)
遠地震に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> マグニチュード7.0以上 都市部など著しい被害が発生する可能性がある地域で規模の大きな地震を観測した場合(国外で発生した大規模噴火を覚知した場合にも発表することがある。) 	国外で発生した地震について、地震の発生時刻、発生場所(震源)やその規模(マグニチュード)を、地震発生から概ね30分以内に発表 ^{*1} 。日本や国外への津波の影響についても記述して発表。
その他の情報	<ul style="list-style-type: none"> 顕著な地震の震源要素を更新した場合や地震が多発した場合など 	顕著な地震の震源要素更新のお知らせや地震が多発した場合の震度1以上を観測した地震回数情報等を発表。
推計震度分布図	<ul style="list-style-type: none"> 震度5弱以上 	観測した各地の震度データをもとに、250m四方ごとに推計した震度(震度4以上)を図情報として発表。

*1 国外で発生した大規模噴火を覚知した場合は、噴火発生から1時間半~2時間程度で発表しています。

関連リンク

- ▶ [緊急地震速報について](#)
- ▶ [津波警報・注意報、津波情報、津波予報について](#)
- ▶ [推計震度分布図について](#)
- ▶ [長周期地震動に関する観測情報について](#)
- ▶ [最新の地震情報](#) (防災情報のページへ)
- ▶ [地震情報等に用いるマグニチュードについて](#)

図1 関連リンク(気象庁ホームページ)

地震及び津波に関する情報

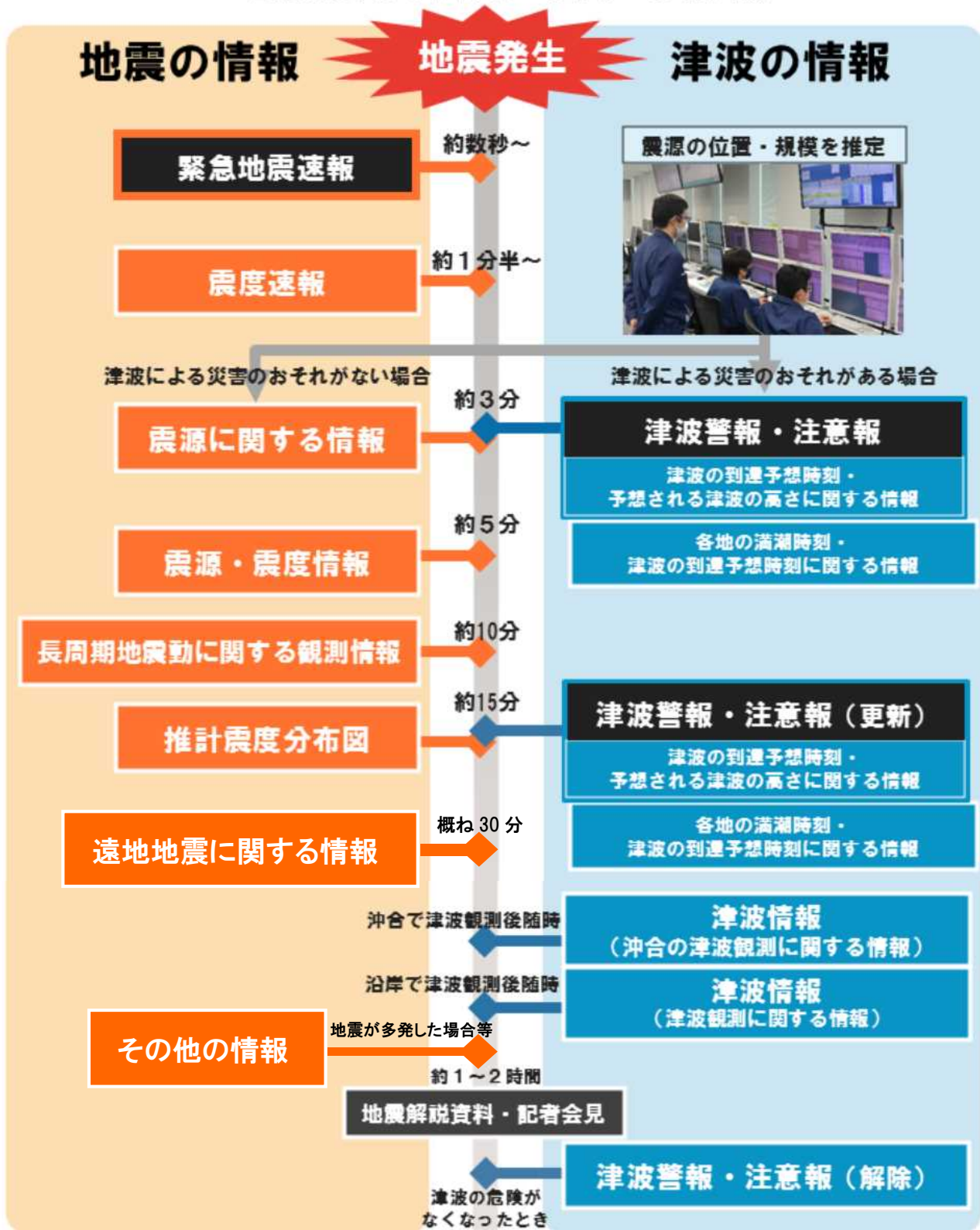


図2 地震および津波に関する情報発表の流れ (気象庁ホームページの図を一部加工)

気象庁ホームページ「地震情報について」

<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/seisinfo.html>